

AirMagnet Survey PRO 11.3.0

Release Notes

April 2024

はじめに

AirMagnet Survey PRO は、2.4GHz、5GHz、および 6GHz 帯域の 802.11a/b/g/n/ac/ax 無線ネットワークの計画およびサーベイに必要なすべてを備えた、WLAN のプロフェッショナルを支援する強力で使いやすい WLAN サイトサーベイツールです。

このリリースノートでは、新機能に加え、11.3.0 リリースで修正された問題についても取り上げます。

新機能 v11.3.0

AirMapper サポートの改善

Link-Live からダウンロードした AirMapper プロジェクトのサポートが改善されました。

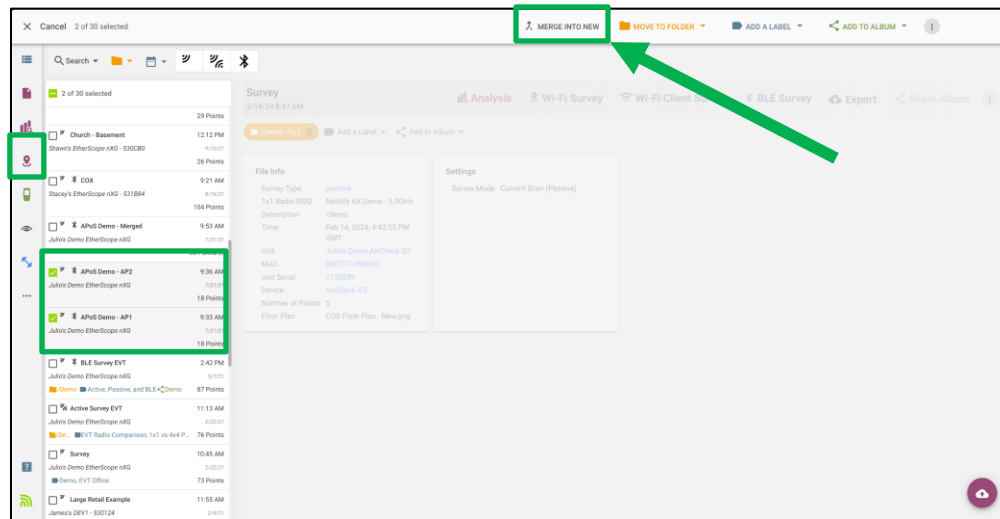
「AP on a Stick」(APoS) サーベイの AirMapper ファイルの各部分を手動で AirMagnet Survey PRO にインポートして 1 つのプロジェクトに結合する代わりに、すべてのファイルを Link-Live にアップロードして結合し、結合したプロジェクト (1 つのファイル) を AirMagnet Survey PRO で開くことができます。

以下がその手順です。

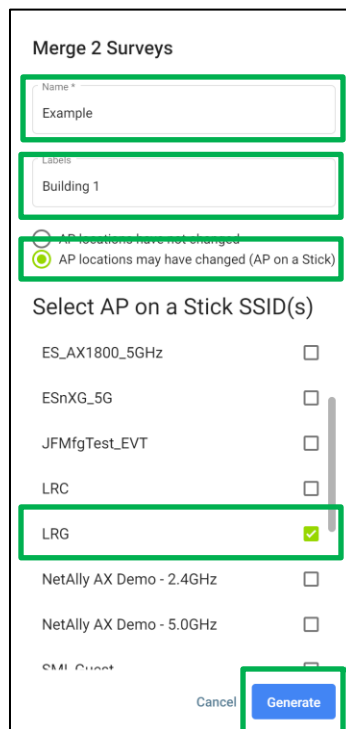
- AirCheck G3、EtherScope nXG、または CyberScope で AirMapper アプリを使用して APoS サーベイデータを収集した後、プロジェクトを Link-Live にアップロードします。



- Link-Live の AirMapper セクションから、APoS プロジェクトの一部であるすべてのファイルを選択し、「新しい物へマージ」(Merge into New)を選択します。



- マージしたプロジェクトに名前を付け、必要なラベルを追加し、「APの位置が変更になった可能性があります。(AP on a Stick)」を選択し、マージしたいSSIDを選択して (パッシブ調査が行われた場合)、「生成」をタップします。



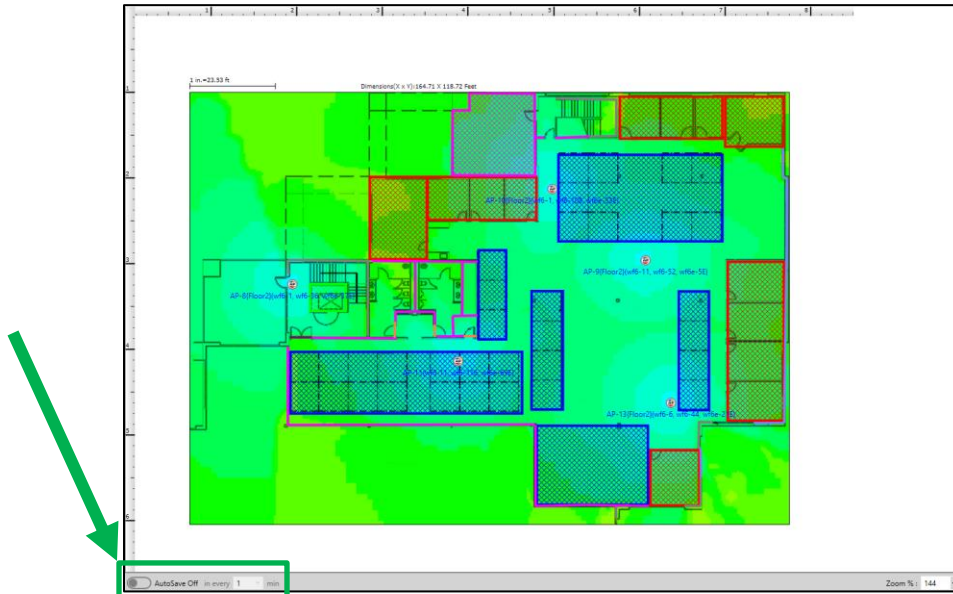
- マージ完了後、マージされたファイルを選択し、「Export」をクリックすると、ファイルがダウンロードされ、AirMagnet Survey PRO を使用してプロジェクトを開くことができます。



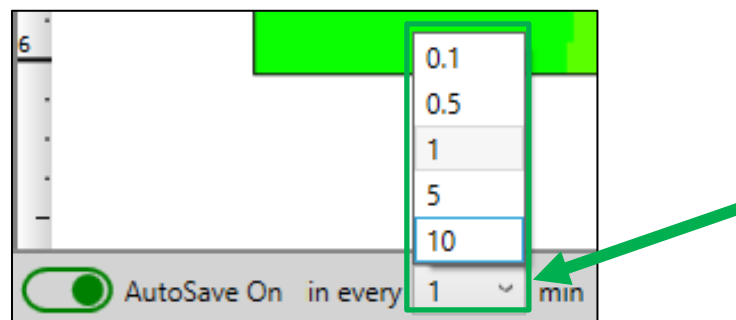
Multi-Floor Planner での定期的なAutoSave (自動保存)

Wi-Fiネットワーク設計に何時間も費やした後、データが失われることを好む人はいません。そのため、Multi-Floor Plannerに自動保存オプションを追加しました。この新しいオプションを有効にするには、次のようにします。

- いずれかの表示モードで、画面の左下に移動し、[AutoSave] の横にあるスイッチで切り替えます。



- AutoSaveを「オン」にした後、トグルスイッチの横にあるドロップダウンメニューを使用し、プロジェクトを自動的に保存する頻度を選択します。



この新機能を使用するときは、次の点に注意してください。

- この機能を使用しても、ヒートマップの再生成や自動保存は行われません。ヒートマップを再生成するには、キーボードのF5キーを押すか、「Refresh」ボタンをクリックします。

[F5] キーを使用してMulti-Floor Plannerのヒートマップを更新

Multi-Floor Plannerを使用したWi-Fiネットワークの設計がより効率的になりました。

「Refresh」ボタンの上にマウスを移動してクリックする代わりに、キーボードのF5キーを押して予測ヒートマップを生成または再生成できます。

Multi-Floor Plannerでのマウススクロールホイールによるズームイン/アウト

より効率的なWi-Fi ネットワーク設計のため、作業をさらに簡単にできるように、Multi-Floor Planner にマウススクロールホイールを使用してズームイン/ズームアウトするオプションを追加しました。

- 2Dビューモードで、平面図にマウスを合わせます。
- マウスホイールを上スクロールしてズームインします。
- マウスホイールを下スクロールしてズームアウトします。

Note:さらに、水平および垂直スクロールバーを使用してフロアプランイメージを移動する代わりに、マウスの右ボタンを使用できるようになりました。マウスの右ボタンを押したまま、スクロールしたい方向にドラッグして、マウスボタンを離すだけです。

その他の改善

このリリースには、他にも次のような機能強化が含まれています。

- Multi-Floor Plannerの使用中に手動でフロアプランに配置されたAPのデフォルトの「Transmit Power」は25 mWになりました。
- 「Contents」と「View Help」セクションが新しくなりました。HTMLファイルを使用する代わりに、「Webブラウザ」または「PDFリーダー」アプリケーションで直接開くPDFファイルを使用するようになりました。
- インストールファイルが小さくなり、ダウンロードが速くなりました。

新しいアンテナパターン

今回の Survey PRO 11.3.0 では、以下のアンテナパターンが追加されました。

ベンダー	アンテナパターン
AccelTex	ATS-OHPD-2456-12-4 ATS-OHPD-2456-14-6 ATS-OHPD-2456-14-8 ATS-OO-245-12-6NJ-IC ATS-OP-2456-5-10MPC-36
Araknis	AN-520-AP-I AN-520-AP-O AN-820-AP-I
Arista	C-130 C-200 C-260
Aruba	AP-635 AP-655
Cambium	ANT-OM-1X1-05 XE3-4 XE5-8 X7-35X
Cisco	C9124AXD C9124AXI IW9167IH C-ANT9101 C-ANT9103
Extreme	AP410C AP520C
Meraki	MA-ANT-3-C5 MA-ANT-3-C6

Bug Fixes

このセクションでは、このリリースで修正された不具合について説明します。

Defect ID	説明
186580473	サンプルのVoFi Surveyは、「Display」ビューに移動するとハングします。
182238114	Google Earth Proがインストールされているにもかかわらず、Google Earthへのエクスポートオプションがグレーアウトしています。
186581193	Wi-Fi 6Eのサンプルサーベイは、常に選択できるわけではありません。
184039073	Cisco AIR-ANT2544V4M-R および AIR-ANT2568VG-N のアンテナ パターンには、誤った 0 dB リング値があります。
187407782	一部のレポートでは凡例の色が正しくありません。
187406765	Multi-Floor Planner で作成された SVP ファイルを開こうとすると、Survey がクラッシュします。
186582504	Survey PRO ヘルプの検索機能が機能しません。

Known Issues

このセクションでは、この AirMagnet Survey 11.3.0 リリースに関する主な既知の問題について説明します。

Defect ID	Description
178103361	Survey Report:削除されたセクションはレポートの本文に含まれます。
183582600	上位 30 の AP のパッシブ サーベイ レポート ページには、3 つの帯域すべてで最も強い BSSID がありません。
181290737	View Per AP: AP プロパティの色の設定は保存されません。
181904334	レポートの AP リスト セクションに間違った AP 電力が表示されます。
187269916	間違ったチャンネルが表示されます (ツリー ビューのチャンネルと一致しません)。

Release History

Release Month	Release Version
07/2020	AirMagnet Survey PRO 10.0.0
12/2020	AirMagnet Survey PRO 10.1.0
01/2021	AirMagnet Survey PRO 10.2.0
05/2021	AirMagnet Survey PRO 10.3.0
07/2021	AirMagnet Survey PRO 10.3.1
11/2021	AirMagnet Survey PRO 10.4.0
05/2022	AirMagnet Survey PRO 10.5.0
11/2022	AirMagnet Survey PRO 11.0.0
07/2023	AirMagnet Survey PRO 11.1.0
11/2023	AirMagnet Survey PRO 11.2.0
04/2024	AirMagnet Survey PRO 11.3.0